

学生総合共済

【重要事項説明書】

重要事項説明書はご契約にあたり「特に重要なことから」を「契約概要」に、ご契約者にとって「特に注意を要することから」を「注意喚起情報」に記載していますので、ご契約される前に必ずお読みください。

詳細につきましては「ご契約のしおり」をあわせてご確認ください。なお、ご不明な点がございましたら、大学の生協窓口または全国大学生協共済生活協同組合連合会【略称：大学生協共済連】のご相談窓口：共済サポートダイヤルまでお問い合わせください。

I. 契約概要 (特に重要なことから)

1 学生総合共済のしくみ

【生命共済】

●保障対象者(以下「被共済者」といいます。)の病気で死亡による入院・手術・後遺障害・死亡および事故通院を保障する基本契約と、被共済者の父母扶養者の死亡ならびに被共済者の扶養者の事故死亡を保障する特約を組み合わせた生命共済です。

【火災共済】

●被共済者が所有する家財の火災・落雷・破裂・爆発・水ぬれ・風水害等による損害を保障する火災保障と、盗難による損害を保障する盗難保障、被共済者の過失によって火災・破裂・爆発・給排水設備等からの水ぬれ・水ぬれ事故を起こし借戸室に損害を与え、貸主に対して法律上の賠償責任を負うとき保障する借家人賠償責任保障を組み合わせた火災共済です。

2 共済期間

【生命共済・火災共済共通】

●共済期間は効力の発生する日から1年間です。
●効力の発生には「契約申込」と「共済掛金支払」が必要で、①申込日＝共済掛金支払日および②申込日＜共済掛金支払日の場合は、共済掛金支払日の翌日午前0時に効力が発生し、③申込日≦共済掛金支払日＜指定発効日の場合は、指定発効日の午前0時に効力が発生します。
●継続する契約の共済期間は、現在ご加入の共済契約の満了日の翌日午前0時から1年間です。
●新生生の共済期間は、後記II. 注意喚起情報「4. 契約の成立日と効力の発生日について」の①、②、③の何れかに該当する日から1年間です。

3 自動継続

●この契約の共済期間は1年間ですが、契約者が契約の「継続停止」を申し出ない限り、「満了する契約」と同一内容の継続契約の申込みが毎年あったとみなし、契約者が預金口座振替依頼書に記載した金融機関口座から継続契約の掛金を振替えて、卒業予定年の契約満了日まで保障を継続します。
●この「見なし申込」と「掛金の口座振替」により契約を継続することを自動継続と呼びます。

4 共済掛金の支払い方法

【生命共済・火災共済共通】

●共済掛金は1年間の共済期間に対し年1回払いです。
●初年度(入学時を含む)の共済掛金は、入学する大学の生協が指定する方法(ゆうちょ銀行または生協窓口での払込)でお支払いください。
●2年目から卒業予定年までの共済掛金の支払いは、あらかじめ契約者が指定した金融機関口座からの口座振替となります。

5 契約者(共済に加入申込みする人)をいいます。)

【生命共済・火災共済共通】

●共済に加入申込みする人(契約者)は、大学生協共済連の会員である大学生協の組合員、または組合員と同一の世帯に属する人です。

6 被共済者(共済の保障対象になる人)をいいます。)

●生命共済・火災共済の細則に定める学生で、次の各号のいずれかに該当する人です。
①契約者 ②契約者の配偶者 ③契約者と生計を共にする前記①②以外の2親等以内の親族 ④契約者の配偶者と生計を共にする契約者の配偶者の2親等以内の親族

7 契約の制限および引受条件

【生命共済・火災共済共通】

●被共済者1人につき、生命共済・火災共済にそれぞれ一つ契約できます。
●大学生協共済連が設定する契約の型以外の契約はできません。

【生命共済】

●契約の型：基本契約G型+特約F型の組み合わせによる「GF型」と基本契約R型+特約F型の組み合わせによる「RF型」の2種類があります。
・基本契約G型とR型では被共済者の保障金額が異なります。
・特約F型は被共済者の扶養者事故死亡に関する特約です。
●この契約における被共済者の「年齢」は、新規契約および継続契約の保障開始日における満年齢をいいます。
●新規契約の保障開始日において35歳以上の被共済者、および2年目以降の継続契約の保障開始日において35歳以上の被共済者は、生命共済掛金額が異なりますので、大学の生協窓口または共済サポートダイヤルにお問い合わせのうえ、ご契約ください。
※学生総合共済パンフレット記載の生命共済掛金額は、35歳未満の被共済者を対象とした金額です。
●経済的に自立している被共済者(扶養を受けない人)、および扶養者のいない被共済者は、特約F型(扶養者事故死亡特約)を付帯しないG型またはR型の契約となります。
●扶養者事故死亡共済金の支払い期間中に契約を継続するときは、特約F型(扶養者事故死亡特約)を付帯しないG型またはR型の契約となります。
●共済期間中に卒業や退学などにより大学生協の学生組合員で無くなった場合でも、契約の満了日まで保障を続けることができます。
ただし、中途解約を希望されるときは大学の生協窓口または共済サポートダイヤルまでお申し出ください。

【火災共済】

●契約の型：KT型の1種類のみです。
●この契約は「不動産賃貸借契約の入居者本人」を被共済者とする契約です。なお、借戸室は日本国内に存在することを要します。
●共済期間中に卒業、退学などにより戸室を借用しなくなった場合、解約手続きについて大学の生協窓口または共済サポートダイヤルまでお申し出ください。

8 保障内容

【生命共済】

基本契約：死亡保障、後遺障害保障、入院保障、手術保障、事故通院保障
特約：父母扶養者死亡特約、扶養者事故死亡特約

【火災共済】

基本契約：火災保障、盗難保障(家財・現金・借戸室修理費)、借家人賠償責任保障

※この共済の他に同種の共済(保険)契約があり、それぞれの契約から支払われる共済金(保険金)の合計が損害額を超えるときは、損害額を超えないように調整して支払われる場合があります。

9 満期返戻金、割戻金

【生命共済・火災共済共通】

●この契約に満期返戻金はありません。
●年度の決算において剰余が生じ総会で議決された場合、9月末決算時点

で有効な契約に対し割戻金を支払う場合があります。なお、割戻金は共済契約の最終終了時(卒業年)まで据置きいたします。

10 共済金の受取人

●共済金の受取人は契約者(この共済に加入申込みする人)です。
●被共済者と同一人である契約者が死亡したときの共済金受取人は、下記の人で、その順位は下記の①から⑥の順序とします。さらに、②から⑥における順位はそれぞれの記載順序とします。
①契約者の配偶者 ②契約者が死亡した当時、契約者と生計を共にしていた、契約者の子、父母、孫、祖父母および兄弟姉妹 ③契約者が死亡した当時、契約者と生計を共にしていた、契約者の配偶者の子、父母、孫、祖父母および兄弟姉妹 ④上記②に該当しない契約者の子、父母、孫、祖父母および兄弟姉妹 ⑤上記③に該当しない契約者の配偶者の子、父母、孫、祖父母および兄弟姉妹

11 共済証書等の送付

●共済証書や継続契約のご案内等は、加入申込書に記載した扶養者宛に送付します(日本国内に限りです)。

II. 注意喚起情報 (特に注意を要することから)

1 契約の申込みの撤回(クーリングオフ)について

【生命共済・火災共済共通】

●新規契約に限り契約申込みは、申込日(掛金支払日)から当連合会の8営業日以内に、書面により申込みの撤回ができます。申込みの撤回をするときは、大学の生協窓口または共済サポートダイヤルまでお申し出ください。

2 加入申込書および告知事項の記入について(契約時の告知事項)

【生命共済】

●「加入申込書」(告知事項に該当するときの告知書を含みます。)は大学生協共済連と契約を締結するための重要書類です。記載事項は事実を表記し、契約者と被共済者が異なるときは被共済者の事実を充分確認のうえ、契約者自身が記入してください。
●「生命共済健康状態に関する告知事項」には正確にお答えください。回答が事実と異なると契約が解除されたり共済金をお支払いできない場合があります。

●「生命共済健康状態に関する告知事項」のいずれかの事項に該当する場合は、その病名および発病日または手術予定日についての告知が必要となります。
なお、「告知書に記載した病名」、「告知書に記載しなかったが契約申込み前に発病していたと診断された病名」が原因での共済金は支払いません。ただし、申込日(掛金支払日)から1年を経過した後の前記の病気を原因とする死亡や後遺障害、入院、手術については共済金をお支払いできる場合があります。

●詳細は大学の生協窓口または共済サポートダイヤルまでお問い合わせください。

【火災共済】

●この共済の他に、同種の共済契約や保険契約の有無を「加入申込書」に告知してください。他の共済契約や保険契約が存在するときは、「契約概要」の8.保障内容をご覧ください。

3 契約内容の変更等について(契約後の通知事項)

●契約後に次の事項に変更が生じたときは、必ず大学の生協窓口または共済サポートダイヤルに通知してください。

【生命共済・火災共済共通】

①被共済者の扶養者の氏名、住所 ②契約者の氏名、住所 ③被共済者の氏名、住所(被共済者の変更はできません) ④共済掛金の振替金融機関口座 ⑤契約者または被共済者の通学する大学、学校 ⑥卒業予定年

【火災共済のみ】

●この共済の他に同種の共済や保険の契約を締結するとき

4 契約の成立日と効力の発生日について

【生命共済・火災共済共通】

●大学生協共済連が契約の申込みを承諾した場合には、契約はその申込日に成立したものとします。
●契約の効力は、契約成立日の翌日、共済掛金支払日の翌日または契約者と大学生協共済連が合意した日のいずれか遅い日の午前0時から発生します。
●ただし、新入生の場合は契約申込日と共済掛金支払日より効力の発生日が次のようになります。
①契約申込日と共済掛金支払日が2013年3月31日以前の場合
……………2013年4月1日午前0時
②契約申込日は2013年3月31日以前であるが、共済掛金支払日が2013年4月1日以降の場合
……………共済掛金支払日の翌日午前0時
③契約申込日と共済掛金支払日が2013年4月1日以降の場合
………契約申込日、または共済掛金支払日のいずれか遅い日の翌日午前0時

5 継続契約の掛金払込猶予期間と継続契約の不成立について

※詳しくは学生総合共済パンフレット、ご契約のしおりをご覧ください。

【生命共済・火災共済共通】

●自動継続する契約の共済掛金が預金口座の残高不足等で振替不能となった場合、初回口座振替日の翌日から3ヶ月間の払込猶予期間があります。ただし、この期間内に入金がない場合は、満了した契約の満了日をもって契約が終了し、継続契約は成立せず「保障のない状態」となります。

6 共済金をお支払いできない主な場合について

※詳しくは学生総合共済パンフレット、ご契約のしおりをご覧ください。

【生命共済】

①契約者、被共済者の故意によるとき(自殺は除きます。) ②被共済者、当該扶養者の私闘、犯罪行為によるとき ③頸部症候群(いわゆる「むちうち症」)、腰痛、背痛で他覚症状がないとき ④無資格、無免許、酒気帯び、薬物依存での運転や信号無視、最高速度違反、遮断中の踏切立ち入りによるケガ

【火災共済】

①契約者、被共済者の故意によるとき ②地震、噴火、これらによる津波、火災、風水害等 ③戦争、内乱等によって発生した火災、風水害、盗難 ④紛失 ⑤貸主と特別な約定により加重された賠償責任 ⑥借戸室内に存在しなかった家財、現金の盗難 ⑦借戸室の欠陥、腐食、さび、かび等の自然の消耗

【生命共済・火災共済共通】

●契約締結の際または共済金請求の際に詐欺行為をした場合

7 共済金額を増額、減額した場合のお支払いについて

【生命共済】

●発病後または事故発生後に共済金額を増額する契約が申込み発効した場合であっても、増額契約発効前の病名または事故については、発病

時または事故発生時の契約に基づく共済金額で支払います。
●入院・通院期間中に共済金額を減額する契約が発効した後の入院・通院共済金額は、減額された共済金額で支払います。

8 共済金の分割、繰り延べ、削減について

【生命共済】

●戦争その他の非常な出来事、地震、津波、噴火、その他これらに類する天災などの非常時には、総会の議決を経て共済金を分割・繰り延べて支払い、または金額を削減する場合があります。

9 時効について

【生命共済・火災共済共通】

●契約者・被共済者・共済金受取人が共済金の請求を、支払事由の発生した翌日から3年間怠ったときは時効により消滅します。
●契約者が共済掛金の返還・解約返戻金掛金の請求を、返還・請求事由の発生した翌日から3年間怠ったときは時効により消滅します。

10 解約と解約返戻金について

【生命共済・火災共済共通】

●契約を解約するときは、大学の生協窓口または共済サポートダイヤルへ連絡のうえ、所定の書類に必要事項および解約希望日を記入し提出してください。
●解約にあたって未経過共済期間がある場合は、所定の算式によって解約返戻金を支払います。ただし、既経過共済期間中に共済金の支払事由が生じた場合は、解約返戻金は支払いません。

11 契約が無効となる場合について

【生命共済・火災共済共通】

①契約者、被共済者が契約の資格・条件を充足しなかったとき ②基本契約および特約の共済金の限度額を超えて契約したとき、その最高限度を超えた部分 ③申込みの際、被共済者の同意を得ていなかったとき ④契約者の意思によらず契約が申込みされたとき

【生命共済】

①被共済者が効力の発生日(保障開始日)の前日までに亡くなられていたとき

【火災共済】

①借戸室が存在しないとき ②借戸室や家財に損害が生じていることを、契約時点で契約者または被共済者が知っていたとき

12 契約が解除となる場合について

【生命共済・火災共済共通】

●告知義務違反による解除
契約者または被共済者が、契約締結の際に故意または重大な過失により、告知事項または危険の測定に関する重要な事実を隠したり、または事実でないことを記載した場合。

●重大事由による解除
契約者、被共済者または共済金受取人が、①故意に共済金支払事由を発生させ、または発生させようとしたとき ②共済金請求に関して詐欺行為を行い、または行おうとしたとき ③大学生協共済連の信頼を損ない、契約の存続を不当と判断された場合。
※解除が共済金支払事由発生後であっても共済金を支払いません。また、すでに共済金を支払っていたときは、その返還を請求することができます。

13 個人情報の取り扱いについて

【利用目的】

大学生協共済連が共済契約の締結・維持管理ならびに共済金支払等に際して取得した個人情報は、当連合会ならびに当会の会員である大学生協および全国大学生協連が共済事業と生活協同組合事業に関する各種調査・サービス・イベント等のご案内などをするために利用することがあります。また、健全な共済事業運営のため、医師等に対して告知内容・共済金請求内容に関する事実確認を行うことがあります。
※全国大学生協連とは、大学生協が加盟する生活協同組合の連合会として正式名称は「全国大学生協生活協同組合連合会」と称します。

【共同利用】

大学生協共済連が保険契約者となる団体契約(学生賠償責任保険・扶養者死亡保障保険)に関して取得した個人情報は、当連合会ならびに当会の会員である大学生協および引受保険会社および保険代理店である株式会社大学生協保険サービスにおいて、契約の締結・維持管理・保険金の支払および各種案内・サービスなどのために利用します。

【第三者提供】

大学生協共済連は、当連合会の会員である大学生協・全国大学生協連・被共済者が所属する大学に「学生総合共済」ならびに当連合会が保険契約者となる「団体契約」の加入状況および共済金・保険金の支払い状況などを提供することがあります。
【個人情報の保護】については各々のホームページをご覧ください。

全国大学生協共済生活協同組合連合会のホームページ

<http://kyosai.univcoop.or.jp/>

共栄火災海上保険株式会社のホームページ

<http://www.kyoeikasai.co.jp/>

株式会社損害保険ジャパンのホームページ

<http://www.sompo-japan.co.jp/>

三井住友海上火災保険株式会社のホームページ

<http://www.ms-ins.com/>

株式会社大学生協保険サービスのホームページ

<http://www.hoken.univcoop.or.jp/>

14 元受団体ならびに共済契約に関する苦情・相談について

●大学生協共済連ならびに共済の契約・給付に関する苦情・相談は下記の相談窓口でお受けいたします。
●契約者、被共済者または共済金受取人は、契約または共済金の支払に関して大学生協共済連の決定に不服があるときは、大学生協共済連の「異議申立てに関する審査委員会」に対して異議の申立てを行うことができます。
●異議申立ては元受団体の相談窓口でお受けいたします。

15 中立的な外部機関による紛争解決について

●上記による大学生協共済連との間で問題を解決できない場合は、(社)日本共済協会 共済相談所に解決の申立てを行うことができます。

元受団体	全国大学生協共済生活協同組合連合会
ご相談窓口：共済サポートダイヤル	
☎ 0120-335-770	
受付時間：平日 9:40~17:30 土曜日 9:40~13:00	
ホームページ： http://kyosai.univcoop.or.jp/	